

作業療法フォーラム開催！

4月29日（火・祝）、クイーンズスクエア横浜内クイーンズサークルにて「第16回 WFOT Congress 2014」のイベントとして、【作業療法フォーラム 2014】が開催されました。



| 当日のプログラム | |
|----------|-----------------------------|
| 1 | 開会の御挨拶 |
| 2 | バイオリン演奏会 |
| 3 | 座談会 |
| 4 | 第16回 WFOT Congress 2014記者会見 |

WFOT Congress2014 大会長の中村春基先生や広報委員会委員長（JAOT 理事）の小林毅先生を始め、日本で初めての義手で看護のお仕事をされている、野村真波さんにご登壇頂きました。



(開会の御挨拶をされる中村先生)



野村真波さん：北京・ロンドンパラリンピックの競泳日本代表選手。

現在日本で初めての片腕のない（義手の）看護師として兵庫県内の病院に勤務。

野村さんは幼いころよりバイオリンを習っていましたが、20歳の時の交通事故で右手を失い、継続を断念。しかし、本人の強い希望と、担当の作業療法士 柴田先生の熱意により、バイオリンを再開し、野村さんにとってバイオリンは、野村さんらしさを取り戻すきっかけとなった、大切な「作業」でした。

演奏会には、行き交う人々がその演奏に足を止め、多いときには200名近い方が野村さんの演奏に耳を傾けていました。

演奏が終わった後には、会場全体が大きな拍手に包まれました。



(バイオリンを演奏される野村さん)



(演奏後大きな拍手に包まれる会場)

座談会では、野村さん、担当作業療法士の柴田先生、そして協会会長の中村先生の3名の方に登壇していただきました。





野村さんの明るく元気な姿に、笑いや拍手が起こる場面もありましたが、片手を失ってからのお話や、看護師になる夢、夢をかなえる為の懸命なリハビリのお話には涙される方もいらっしゃいました。

「あきらめない心と作業療法」・・・

野村さんの姿を通じて、多くの方の心に伝わったと思います。

6月に行われる第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会では、学術発表に加え、一般の方々にも楽しんでいただき、作業療法について詳しくご紹介する企画をたくさんご用意しています。

皆様も、日ごろの活動の成果を海外の方に紹介し、国際交流をしていただくとともに、患者様はご家族の皆様にも是非ご案内いただき、多くの方に足を運んでいただければと思います。